

| | |
|-------|----------------------|
| 日時 | 7月11日(月) 20:00~22:15 |
| 会場 | 丸紅棟 1210研修室 |
| 出席チーム | 全17チーム |
| 欠席チーム | 無し |
| 議事録 | JFE商事 松尾 水田 山田(記) |

議題

内容

議事

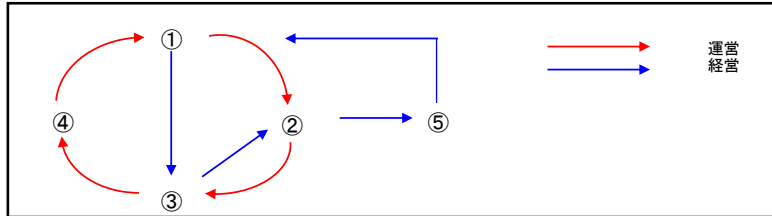
※以下、敬称略させていただきます。

- ①商社リーグについて
- ②運営要綱について
- ③今後のスケジュール
- ④チャンピオンズカップ

*会議冒頭で金田会長が今回の会議の目的を確認。
 今回は代表者会議ではなく、代表者引継会議であることを強調し、各社にチーム内で引継ぎがなされているかを確認。
 ⇒各社引継ぎが行われている中、阪和のみ引継ぎ出来ておらず。

①商社リーグについて

- 経営と運営の違い
 経営 : 仕組み(スキーム)を変革し、さらに利益を生む仕組み(スキーム)を作り出すこと
 運営 : 仕組み(スキーム)の中で利益を追求すること



【運営者の視点】

- ・ 3つの'P'
- Punctual
- Professionalism
- Passion

【経営者の視点】

- ・ Assumption (前提)
- ①運営要綱 ⇒ コミット
- ②商社MAN ⇒ Quality
- ③コンセプト理解 ⇒ Stance

⇒結論 : リーグの経営は、軸足(経営、運営)を2つ置き、「経営者の視点」をもって欲しい。

■新役員の紹介

- 兼松/横田
- JFE商事/荒瀬
- 伊藤忠/内田

⇒今年度の役員会は新しいメンバーがほとんどで、経験とノウハウが足りておらず、正直、危機的状況であり各社の協力が不可欠。また今後、主幹事チームは、主幹事終了後、役員会に1名メンバーを加入させる等、経験とノウハウを蓄積させる為の仕組み作りも必要と考える。

②運営要綱について

- 運営要綱は商社リーグの法律であり、絶対的なものである。
 商社リーグに参加するチームは運営要綱を"理解し、納得し、コミット"しなければならない。
- *尚、運営要綱にチャンピオンズカップの内容を盛り込んでいるため、現在Revised版作成中。
- ⇒各社運営要綱にコミットするかの質問に対し、全社よりコミットする意思を頂く。

③今後のスケジュール

- 提出物、提出期限について
- ~7/22 : ・ ML ⇒ 副幹事: JFE商事に提出
 ・ チームデータ1次締め ⇒ 副幹事: 日立ハイテに提出 主幹事: 丸紅より各社にフォーム発信
 ・ リーグ戦不可日/グランド使用可能日(8月分) ⇒ HPIにて申請
 ※当初~7/15までであったが協議の結果、~7/22に延長とした。
- ~7/29 : ・ チームデータ最終締め
 ・ 商社リーグ参加費振込み(8万円/チーム)※運営要綱項目9. A) リーグ参加費
 ⇒振込みをもってリーグ参加をコミットとする。
- チームデータについて
 今年度末までに、「生年月」を記入すると、自動で年齢が計算されるフォーム作成 ⇒ 日立ハイテ/新井
- リーグ開催、グランド手配について

- ・ 日曜日の開催も視野にいれる。
- ・ グラウンドの提供をお願いしたい。

【候補】

- ①レックスランド会員
 長瀬産業(個人登録)
 三井物産(チーム登録)
 伊藤忠商事(チーム登録)
 JFE商事(チーム登録)
 双日(個人登録)
- ②兼松グランド
- ③新砂グランド ※確率微妙である為、運用できるか住友商事/島本確認
- ④豊田グランド
- ⑤三菱グランド ※努力目標4h×3回
- ⑥三郷スカイパーク

※再度各社にてグランド調査(2010/11/15議事録記載内容)
 ⇒主幹事よりグランド一覧表発信(合わせて参加費振込みの発信)

④チャンピオンズカップ

- 商社カップを廃止し、チャンピオンズカップを導入する。
- ・ 経緯 : ・ カップ戦運営のクオリティが低い(運営要綱が無い、緊張感無し)
 ・ 商社リーグの活性化(出場権を賭け、順位争いができる)
- ・ 内容 : ・ リーグ戦後、1月~2月に開催(1月2週目頃から開始予定)
 ・ 出場権 1部5位まで } ⇒ 計8チームのトーナメント
 2部3位まで
- ・ 運営要綱は商社リーグと同等とする。
- ・ 幹事は従来通り、翌年度リーグ戦主幹事が担当する。初年度(来年1月)の主幹事は別途検討。
 ※来年度主幹事の伊藤忠商事にて対応頂くか、9/12までに回答。
 ※当年の商社リーグ主幹事が翌年のチャンピオンズカップをフォローする。
 ⇒主幹事業務引継ぎにもなり、またリーグ戦と同じ緊張感を持って主幹事業務を引き継げる。
 ⇒上記変更につき、全社コミット